

# 「世界自然遺産 小笠原を知る」

昭和43年に小笠原諸島が日本に返還され、50年となります。小笠原諸島は大陸から隔絶していたため、生物は独自の進化を遂げており、小笠原にしか生息していない動植物が多く、平成23年6月に、日本で4番目となる世界自然遺産に登録されました。  
この講座では、小笠原諸島の「自然」と「文化」に関する研究成果を、わかりやすく解説します。



日時

平成30年2月3日（土）、4日（日）、10日（土）、17日（土）全4回  
各日 午後2時～4時

講師

- 第一回 世界遺産小笠原の自然の価値と保全の取組み（首都大学東京 可知 直毅 氏）
- 第二回 南硫黄島一調査隊が見た原生自然の姿一（首都大学東京 加藤 英寿 氏）
- 第三回 小笠原ことばの謎（首都大学東京 ロングダニエル 氏）
- 第四回 世界遺産における観光と研究活動一小笠原を事例に一（首都大学東京 沼田 真也 氏）



首都大学東京 可知 直毅 氏



首都大学東京 加藤 英寿 氏



首都大学東京 ロングダニエル 氏



首都大学東京 沼田 真也 氏



会場

羽村市生涯学習センターゆとろぎ 講座室1

対象

一般（市内在住の方優先）

定員

50人（申込多数の場合抽選）

参加費

2,000円（全4回分）

申込み・問合せ

12月15日（金）～（祝日以外の月曜日、年末年始を除く）の午前9時～午後5時に、  
電話、はがき、または直接ゆとろぎ（042-570-0707）、または市役所電子申請サービスへ



電子申請QRコード

主催：羽村市教育委員会生涯学習センターゆとろぎ